

# TAMA DYNA-SYNC DRUM PEDAL

## 取扱説明書

ご使用になる前に、必ず説明書をお読みください。

この度はダイナシンク・ドラムペダルをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。製品の機能を十分に発揮し、安全にご使用頂くために、組み立て前に必ず本説明書をお読みください。また本書は大切に保管してください。

### 1. スプリングフック

まずクイックフック(c)をスピードリング(b)のベアリング部に図1のようにセットします。ツインペダルは左側のスプリングも同様にセットします。

### 2. コネクティングロッドの取り付け (ツインペダルのみ)

コネクティングロッド(j)を左右のペダルのカムシャフトに取り付けます。奏者側向かって右のペダルには、コネクティングロッド端の角頭ボルト(5)が図3Rのような方向になるようにカムシャフトに取り付け、ボルトをドラムハンマーで締めて固定してください。左側のペダルも同様にカムシャフトとロッドを固定してください(図3L)。取り付けが終わったら、左右のペダルの間隔を調整します。角頭ボルト(6)をドラムハンマーで緩め、コネクティングロッドを好みの長さに調整してください。好みの位置が決まったら角頭ボルト(6)を締めて固定します。

### 3. フープクランプ

フープクランプ(e)のナット(1)で、クランプの開き具合を調整します。バスドラムフープの厚みに合わせて、クランプの開き具合をあらかじめ調整してください。次にT型ボルト(2)を締め、バスドラムフープにペダル本体をセットし、しっかりと締めて固定してください(図2)。

### 4. ビーター

ビーターの長さは角頭ボルト(3)を緩めて調整します。調整後は角頭ボルトをしっかりと締めてください(図1)。

### 5. ビーター角度の調整

スピードリング(b)の角頭ボルト(4)を緩めてビーター角度とフットボード角度を連動して無段階に調整する事が出来ます。シャフトの端にあるアングルメモリーキャップ(d)の目盛りとスピードリング側の目印(d1)を目安に少しずつ調整してください(長い目盛りが出荷時の標準位置です)。好みの角度が決まったら、角頭ボルト(4)を締めて固定してください(図4R)。ツインペダルの場合、左側のビーター角度も同じようにしてください(図4L)。ビーター角度を調整すると、図4のようにカムの角度も連動して変わります。ビーターの角度を寝かせるとカムの先端が上がリ、ビーターを起すとカム先端は下がります。ダイレクトドライブペダルは、このカムの角度によって演奏時のフィーリングが変わりますので、ツインペダルをご使用の場合、左右のビーター角度とカム角度は、アングルメモリーキャップの印を目安に左右揃えたセッティングをされる事をお勧めします。左側のビーターホルダー角頭ボルト(7)を緩めてビーター角度調整は行わないでください。

### 6. フットボード角度の調整

ビーター角度に影響を与えずに、フットボード角度を独立して調整出来ます。フットボード先端の角頭ボルト(8)を緩める事でフットボードの角度を調整出来ます。図5の中央の目盛りが出荷時の標準位置、図5-1がフットボードの先端が最も高い位置、図5-2が最も低い位置になります。好みの角度が決まったら、角頭ボルト(8)を締めて固定します。

### 7. スライドブル カムの調整

カム上面の角頭ボルト(9)を緩めてスライドさせると、カムの回転半径を調整出来ます。図6の中央の位置が出荷時の標準位置、図6-1がカム径最小、図6-2がカム径最大の位置になります。カムの回転半径を大きくすれば、フットボードの角度と踏み込みに必要な力の変化が緩やかになり、微細なタッチを表現出来る高い操作性を実現します。逆に小さくすると、変化がより大きいダイレクトドライブ感を高めたアクションとなり、ソリッドな踏み心地を得ることが可能になります。好みのアクションが決まったら角頭ボルト(9)を締めて固定します。

#### 注意:

バスドラムのフロントヘッド側を極端に上げた状態でカム径を最大にすると、カム先端がヘッドに接触する事があります。接触する場合は、フロントヘッド側を少し下げるようにバスドラムの脚の長さを調整してください。

### 8. スプリングテンションの調整

スプリングテンションは、下側にある調整ナットで調整出来ます。スプリングの調整をする時にはまず(図7-1)のようにロックナットを緩めた後、(図7-2)のようにロックナットを下に押し下げながら下側のナットを回して調整してください。調整ナットを締めるとスプリングテンションが強くなり、フットボードの返りが早くなります。好みのテンションが決まったらロックナットを締めて固定します(図7-3)。

### 9. シンクコイル

シンクコイルはフットボードの返りをアシストし、よりスムーズで軽快なペダルアクションを可能にする機構です。効き具合は、コイルの位置を移動させることで調整出来ます。アンダープレート裏側にある角頭ボルト(10)を緩め、H(Harder Action)の方向に動かすとスプリングの効果が強まり、S(Softer Action)の方向に動かすと効果が弱まります(図8)。またシンクコイルは取り外すことも可能です。好みのフットボードアクションに合わせて、適宜調整してください。

### 10. ペダルアンカー (ツインペダルのみ)

セッティングが決まったら、必要に応じて左側のペダルのアンカーボルトを手で調整してください。(図9)

#### 注意:

- アンカーボルト(スパイク)を使用される際は、床面を傷つけないようにマットを敷いてください。
- 各アングルのセッティングがすべて終わったら、演奏前に必ずもう一度(1)~(10)のボルト&ナットをしっかりと締めて固定してください。

### メンテナンス

- より長く滑らかなアクションをお楽しみ頂くために、時々乾いた布でほこりや汚れを拭き取ってください。ベアリングやヒンジ部は給油の必要が無い設計ですので、オイルを注す必要はありません。
- アンダープレート裏側の固定ネジや、その他部品の固定ボルトは演奏中や運搬時の振動で緩む事がありますので、付属のレンチやプラスドライバーで時々増し締めしてください。

## 各部の名称

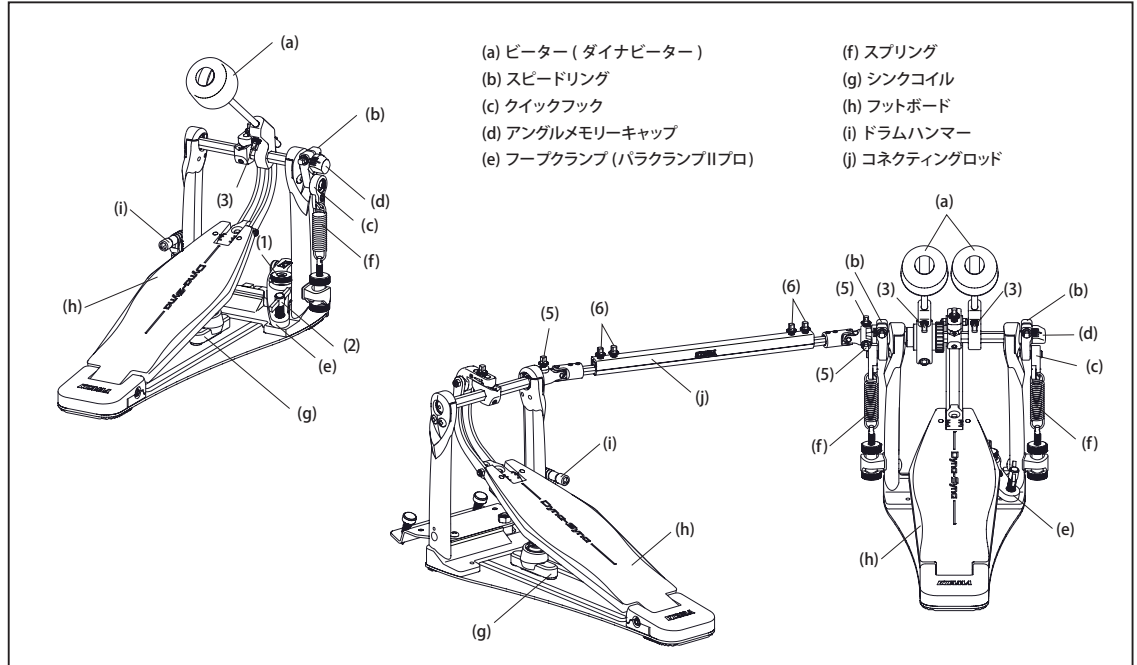


図1

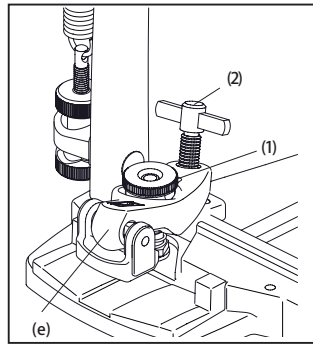


図2

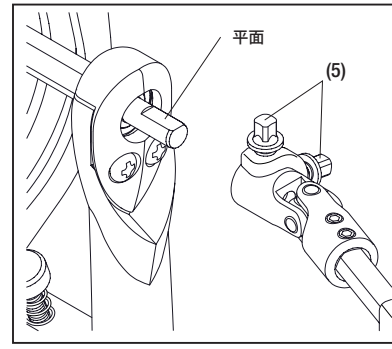


図3L

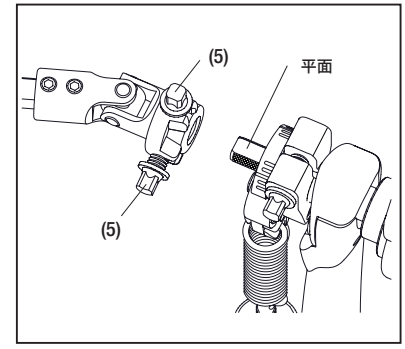


図3R

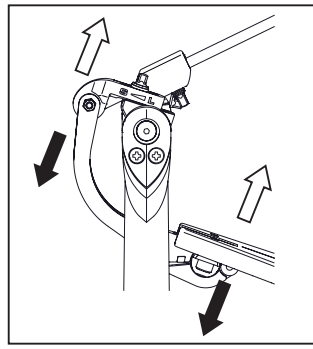


図4

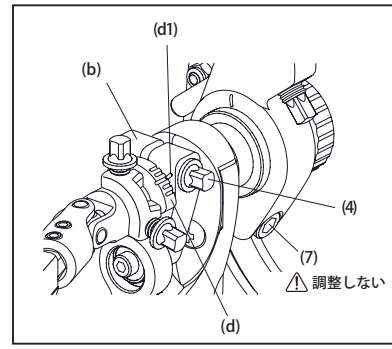


図4L

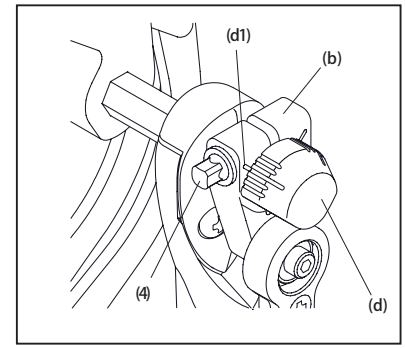


図4R

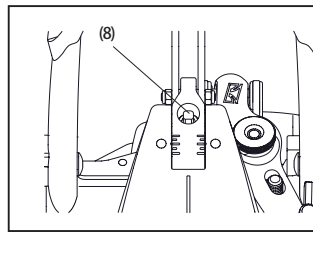


図5

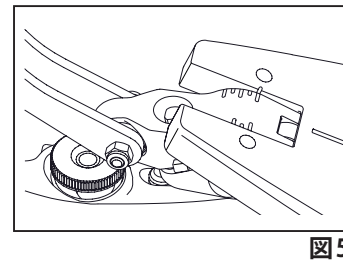


図5-1

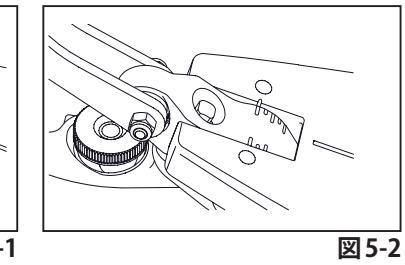


図5-2

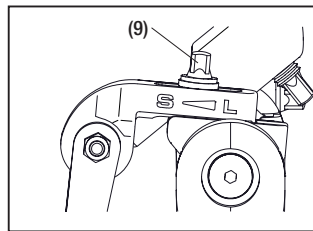


図6

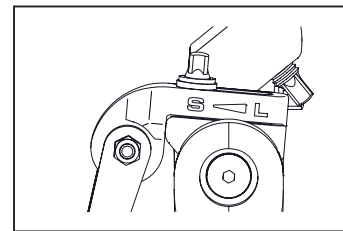


図6-1

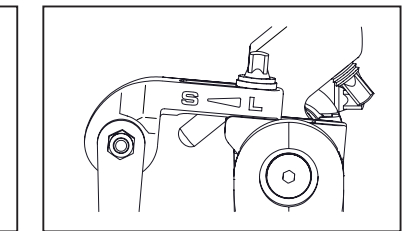


図6-2

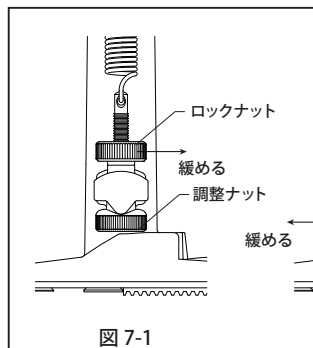


図7-1

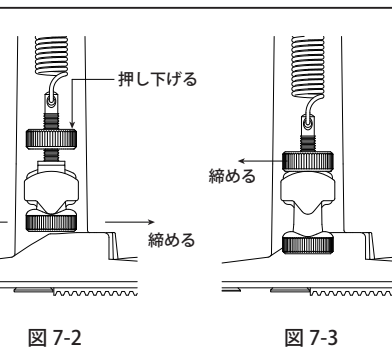


図7-2

図7-3

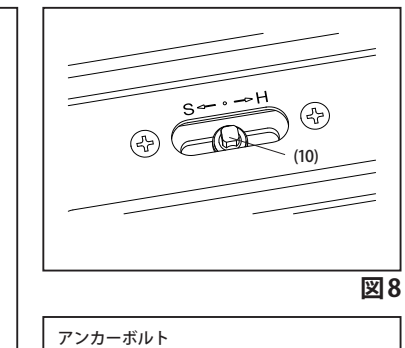


図8

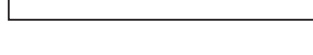


図7-1

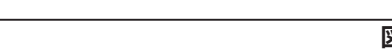


図7-2

図7-3



図7

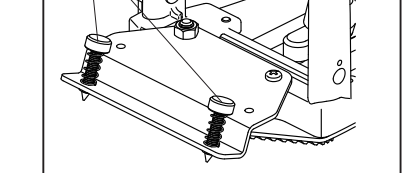


図9